

（１）滋賀らしい国民体育大会および全国障害者スポーツ大会の開催について



2024
滋賀国体・全国障害者スポーツ大会
～ 開催に向けた平成30年度の主な取組 ～



国体・全ス開催準備委員会

負担金 29,200千円

（１）各競技会場の選定

- ◆正式競技・特別競技については、会場を調整中の11競技のうち、調整が終了した6競技の会場を第4次内定(案)として、5月21日開催の「常任委員会」に諮り決定。(第4次内定で決定できなかった6競技については、平成30年度中に調整。)
- ◆内定済みの競技については、平成30年度から中央競技団体の正規視察を順次実施。
- ◆公開競技や全国障害者スポーツ大会正式競技の会場選定を実施。

（２）開催準備委員会における大会準備

①「開催基本構想」の検討・策定

- ◆大会準備・運営および大会終了後のレガシー創出の指針となる「開催基本構想」について、平成31年5月頃の策定を目指し、開催準備委員会において検討。

②競技役員等の養成

- ◆審判員等の資格が必要な役員等の養成を行う競技団体に対し、引き続き補助金を交付するとともに、全国障害者スポーツ大会の運営に携わる競技役員養成計画策定に向けた検討を実施。

③宿泊・衛生/輸送・交通にかかる検討

- ◆大会開催時の配宿や輸送、交通に関する基礎調査を実施し、宿泊・輸送・交通にかかる基本計画策定に向けた検討を実施。

（３）開催機運醸成に向けた取組

①大会愛称・スローガンの募集・選定

- ◆平成31年の決定に向けて愛称・スローガンの募集・選定を行うとともに、そのプロセスを県民の皆様と共有し、大会の認知度向上に努める。
- ◆大会マスコットキャラクター「キャプティフ＆チャプティフ」の活用や、大会専用ホームページ(H30年3月開設)を通じた情報発信を積極的に実施。

②募金活動の展開

- ◆寄附を通じて「滋賀のスポーツを応援」いただけるよう、県民・企業の皆様に対して積極的に呼びかけを実施。
- ◆いただいた寄附金は、当面「滋賀県競技力向上対策本部」で実施する、スポーツ選手の発掘、育成および強化に要する経費や、(仮称)彦根総合運動公園・新県立体育館などの施設整備に要する経費に充当。

③子ども・若者参画特別委員会(ジュニア・ユースチーム第5期)活動の展開

- ◆他県にはない『滋賀オリジナル』の取組として、小学生～大学生世代の子どもや若者で構成する「ジュニア・ユースチーム」が、その柔軟な視点や発想を活かし、両大会はもとより、広く県のスポーツ振興に関する課題等について調査研究を実施。

滋 賀 県

市町競技施設整備費補助

136,500千円

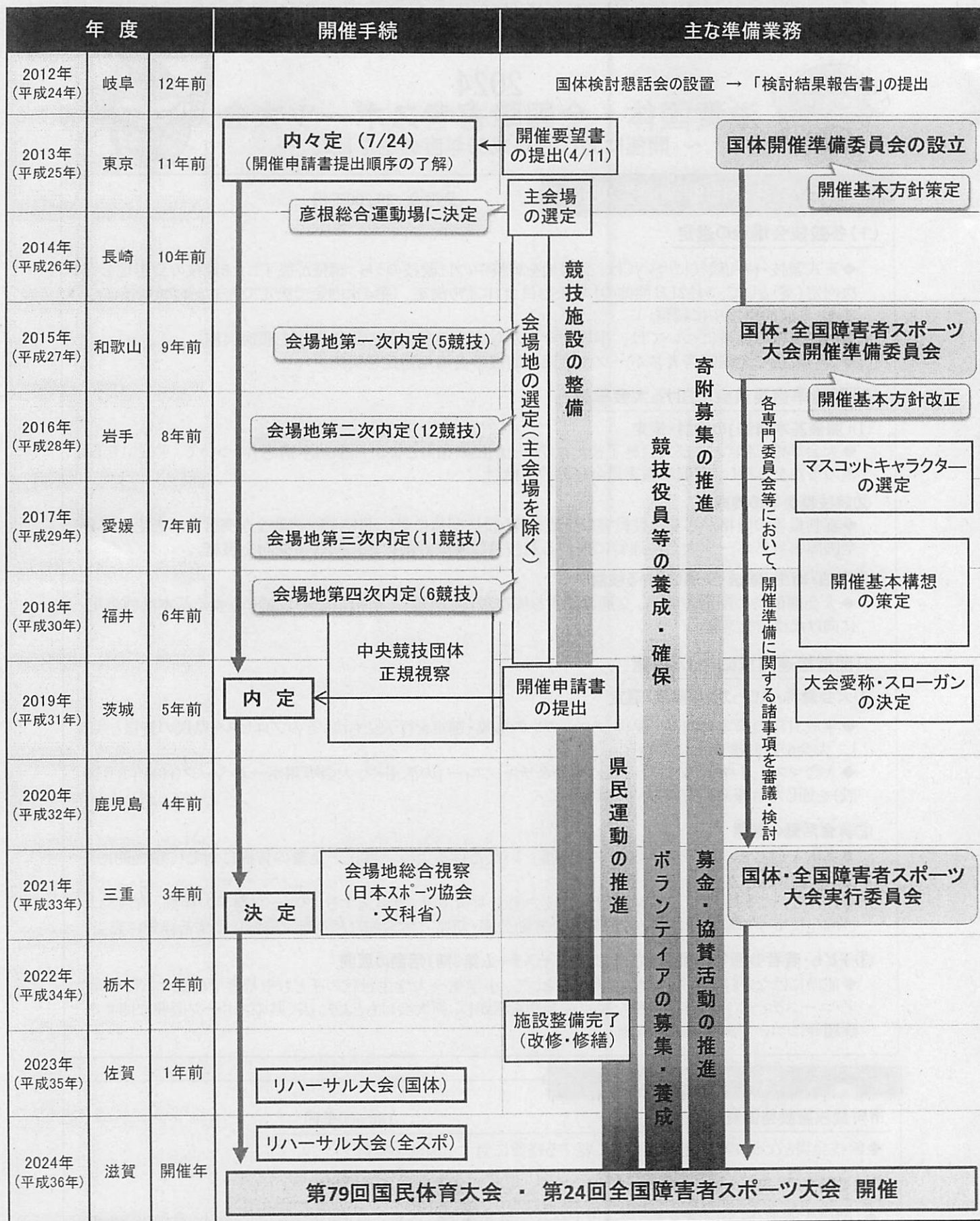
- ◆競技会場となる市町立施設の整備に要する経費に対する補助を実施。

基金の積立て 等

30,307千円

- ◆「国民体育大会・全国障害者スポーツ大会運営等基金」に、企業や県民の皆様からいただいた寄附金を積み立てるとともに、一部を取り崩し、平成30年度に実施する競技力向上対策事業に充当。
(H29年度末残高:約3,634百万円、H30年度事業充当 10,000千円)

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会 開催準備スケジュール



第79回国民体育大会 各競技会場地の内定状況について

○内定済み(第一次～第四次) …… 33競技(正式競技32、特別競技1)

○未定 …… 6競技(水泳、自転車、馬術、ライフル射撃(CP以外)、ラグビーフットボール、ボーリング)

No	競技名		第79回国体 会場地				(参考) びわこ国体会場地
			内定時期	市町名	施設名	種別	市町村名
1	陸上競技		H26.5.26	彦根市	(仮称)彦根総合運動公園陸上競技場	全種別	大津市
2	水泳	競泳					彦根市
		アーティスティックスイミング					—
		水球					長浜市
		飛込					彦根市
3	サッカー		②H28.8.3	東近江市	布引運動公園陸上競技場 京セラ株式会社滋賀八日市工場 総合グラウンド	成年男	水口町、甲西町
				大津市	皇子山総合運動公園陸上競技場 伊香立公園芝生グラウンド びわこ成蹊スポーツ大学陸上 フィールド	女子	
				守山市	野洲川歴史公園サッカー場 (ビッグレイク)	少年男	
4	テニス		②H28.8.3	大津市	大石緑地スポーツ村テニスコート	全種別	彦根市
5	ボート		②H28.8.3	大津市	滋賀県立琵琶湖漕艇場	全種別	大津市
6	ホッケー		③H29.7.31	米原市	県立伊吹運動場、米原市伊吹第 1グラウンド	全種別	伊吹町
7	ボクシング		④H30.5.21	東近江市	東近江市能登川スポーツセン ター体育館	全種別	能登川町
8	バレーボール		②H28.8.3	草津市	草津市立総合体育館 野村公園体育館	成年男 成年女	近江八幡市、守山市
				近江八幡市	近江八幡市立運動公園体育館	少年男	
				守山市	守山市民体育館	少年女	
9	体操	競技	②H28.8.3	大津市	新県立体育館	全種別	栗東町
		新体操	②H28.8.3	大津市	新県立体育館	少年女	—
10	バスケットボール		②H28.8.3	大津市	新県立体育館	成年男 少年男	大津市
				野洲市	野洲市総合体育館	成年女	
				草津市	野村公園体育館	少年女	

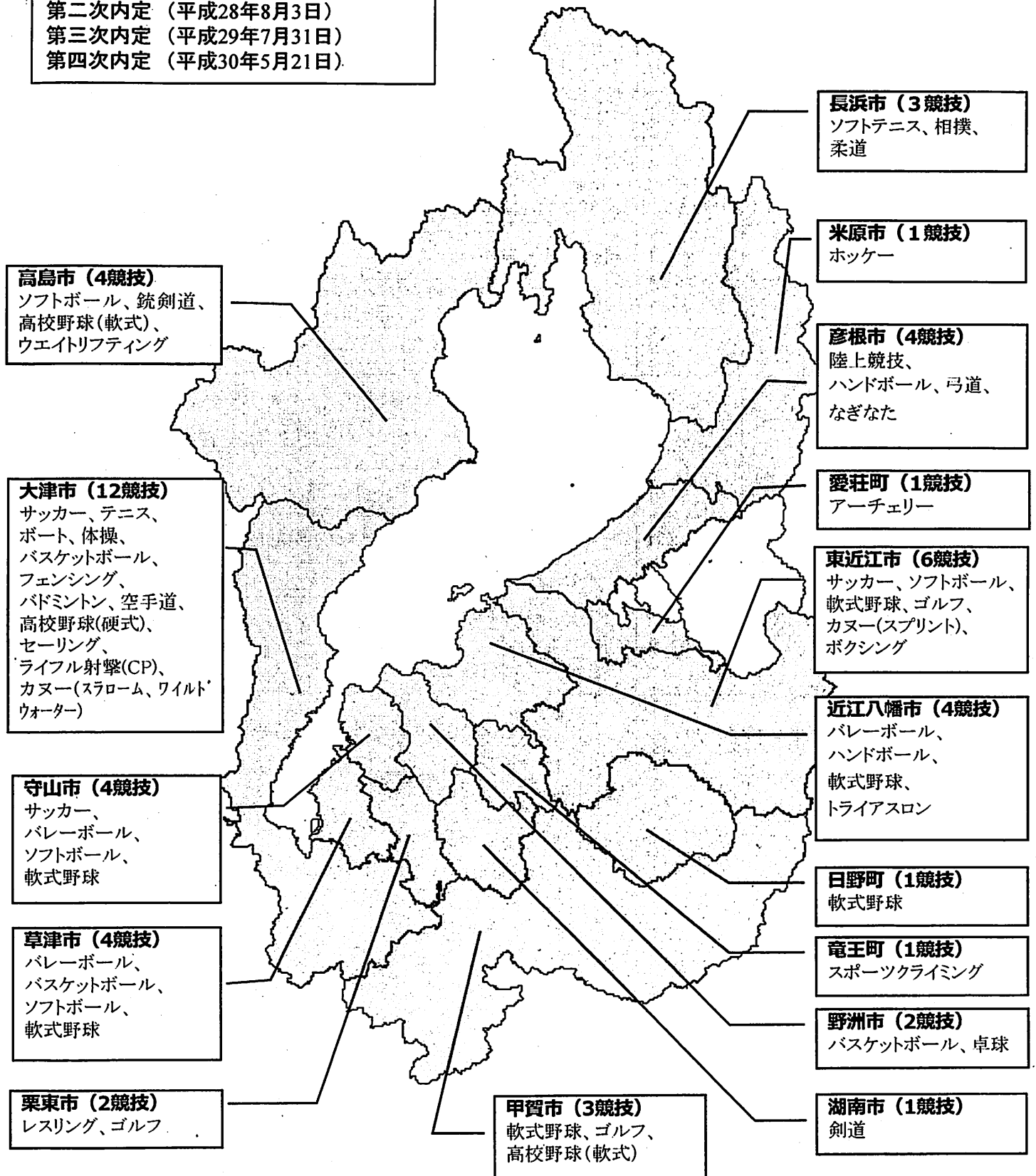
No	競技名		第79回国体 会場地				(参考) びわこ国体会場地
			内定時期	市町名	施設名	種別	市町村名
11	レスリング		②H28.8.3	栗東市	栗東市民体育館	全種別	甲賀町、信楽町
12	セーリング		④H30.5.21	大津市	大津市柳が崎特設セーリング会場	全種別	大津市
13	ウエイトリフティング		④H30.5.21	高島市	県立安曇川高等学校体育館	全種別	安曇川町
14	ハンドボール		③H29.7.31	彦根市	(仮称)彦根市新市民体育センター 県立彦根東高等学校体育館 県立彦根工業高等学校体育館 彦根グリーンアリーナ(彦根総合高等学校体育館)	全種別	彦根市
				近江八幡市	近江八幡市立運動公園体育館	少年男 少年女	
15	自転車	トラック					大津市
		ロード					八日市市、蒲生町、日野町、 永源寺町、愛東町、湖東町
16	ソフトテニス		①H27.8.31	長浜市	長浜市民庭球場	全種別	長浜市
17	卓球		②H28.8.3	野洲市	野洲市総合体育館	全種別	草津市
18	軟式野球		③H29.7.31	近江八幡市	近江八幡市立運動公園野球場	成年男	近江八幡市、守山市
				草津市	草津グリーンスタジアム		
				守山市	守山市民球場		
				甲賀市	甲賀市民スタジアム		
				東近江市	ひばり公園湖東スタジアム		
				日野町	大谷公園野球場		
19	相撲		①H27.8.31	長浜市	長浜バイオ大学ドーム (滋賀県立長浜ドーム)	全種別	日野町
20	馬術						栗東町
21	柔道		②H28.8.3	長浜市	木之本運動広場体育館	全種別	木之本町
22	ソフトボール		②H28.8.3	東近江市	布引運動公園多目的グラウンド	成年男	草津市、八日市市
				高島市	今津総合運動公園第2グラウンド	成年女	
				草津市	野村公園グラウンド	少年男	
				守山市	守山市民運動公園ソフトボール場・ 市民スポーツ広場	少年女	
23	フェンシング		③H29.7.31	大津市	ウカルちゃんアリーナ (滋賀県立体育館)	全種別	五箇荘町
24	バドミントン		②H28.8.3	大津市	新県立体育館	全種別	大津市
25	弓道		③H29.7.31	彦根市	(仮称)彦根市新市民体育センター	全種別	長浜市
26	ライフル 射撃	センター・ファイア・ピストル	④H30.5.21	大津市	滋賀県警察学校射撃場	全種別	大津市
		センター・ファイア・ピストル以外					
27	剣道		①H27.8.31	湖南市	湖南市総合体育館	全種別	今津町

No	競技名		第79回国体 会場地				(参考) びわこ国体会場地
			内定時期	市町名	施設名	種別	市町村名
28	スポーツ クライミ ング	リード ボルダリング	③H29.7.31	竜王町	竜王町総合運動公園	全種別	高島町、志賀町、 朽木村
29	ラグビーフットボール						野洲町
30	カヌー	スプリント	③H29.7.31	東近江市	東近江市能登川水車とカヌーラ ンド	全種別	大津市
		スラローム ワイルドウォーター	④H30.5.21	大津市	瀬田川特設カヌー会場	全種別	
31	アーチェリー		①H27.8.31	愛荘町	愛荘町スポーツセンター 秦荘グラウンド	全種別	秦荘町
32	空手道		②H28.8.3	大津市	ウカルちゃんアリーナ (滋賀県立体育館)	全種別	湖東町
33	銃剣道		③H29.7.31	高島市	新旭体育館	全種別	今津町
34	なぎなた		③H29.7.31	彦根市	パナソニック株式会社アプライア ンス社彦根工場多目的ホール	全種別	—
35	ボウリング						—
36	ゴルフ		③H29.7.31	栗東市	琵琶湖カントリー倶楽部	成年男	—
				甲賀市	ベアズパウ ジャパン カントリー クラブ	少年男	
				東近江市	名神八日市カントリー倶楽部	女子	
37	トライアスロン		④H30.5.21	近江八幡市	近江八幡市特設トライアスロン会場	全種別	—
38	高等 学校 野球	硬式	①H27.8.31	大津市	皇子山総合運動公園野球場	—	大津市
		軟式	③H29.7.31	甲賀市	甲賀市民スタジアム	—	彦根市
				高島市	今津スタジアム		

注) 1 開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、中央競技団体視察の結果等により、会場の追加・変更等が生じる場合がある。

会場地市町内定(第一次～第四次) 配置図

主会場決定 (平成26年5月26日)
 第一次内定 (平成27年8月31日)
 第二次内定 (平成28年8月3日)
 第三次内定 (平成29年7月31日)
 第四次内定 (平成30年5月21日)



第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 開催基本構想 構成案について

1. 開催基本構想 策定趣旨

滋賀県で 2024 年に開催する、第 79 回国民体育大会および第 24 回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」と総称する。）の開催に向け、県内のスポーツ、産業・経済、健康福祉、文化、教育、行政など様々な分野の団体で構成する、第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会（以下「開催準備委員会」という。）において、大会開催の基本コンセプトとなる「開催基本方針」を 2013 年 10 月に策定（2015 年 8 月改正）し、様々な準備活動に着手しているところです。

開催 5 年前となる 2019 年には、文部科学省および公益財団法人日本スポーツ協会に開催申請書を提出し、開催内定を得たうえで、宿泊・衛生や輸送・交通、式典・会場等の具体的な準備活動が本格化することとなります。

開催内定に向け、開催準備委員会において、「開催基本方針」に掲げる 7 つの実施目標の具体化を図るための方策や、大会準備・運営および大会終了後のレガシー創出の指針をとりまとめた「開催基本構想」を策定し、開催に向けた機運醸成を図るとともに、滋賀が目指す大会の姿を県内外に発信します。

2. 開催基本構想 構成案の概要 ※詳細は別紙のとおり

【序章】

- 策定趣旨
- 大会の歴史・意義
- 開催基本方針と実施目標

【本章】

- 実施目標と取組項目

【終章】

- 大会終了後のレガシー創出に向けて

3. 開催基本構想 策定スケジュール（予定）

【平成 30 年（2018 年）】

- 4 月 開催準備委員会総務企画専門委員会での「構成案」の審議
- 5 月 開催準備委員会常任委員会・総会での「構成案」の報告
総会構成メンバーに対する意見照会
- 11 月 開催準備委員会総務企画専門委員会での開催基本構想（案）審議

【平成 31 年（2019 年）】

- ～1 月頃 パブリックコメントの実施
- 3 月末頃 開催準備委員会総務企画専門委員会での開催基本構想（案）審議
- 5 月頃 開催基本構想の策定（開催準備委員会常任委員会）
- 6 月頃 開催申請書の提出
- 8 月頃 （公財）日本スポーツ協会による開催内定

開催基本方針 実施目標	取組項目	(具体的な取組の例)
1 滋賀をスポーツで元気にする大会 県民の皆さんが日常的にスポーツを「する」「みる」「支える」ことのできる環境づくりに取り組むとともに、生涯にわたり心身ともに健康で活力ある生活を送ることができるよう、健康づくりへの関心を高め、行動につなげるきっかけとします。	1-① すべての県民のスポーツ活動の推進	・生涯にわたるすべての県民のスポーツ活動の充実 ・障害のある人の参加機会の拡大 ・スポーツの持つ多様な価値の共有 ・シンボルスポーツの創出・定着
	1-② 健康づくり活動の推進	・あらゆる県民への運動習慣の定着 ・健康寿命の延伸に向けた活動の推進
	1-③ スポーツ・健康づくり環境の整備	・将来にわたりだれもが使いやすい施設の整備 ・持続的運営が可能な、防災等多目的に使える施設の整備 ・環境や景観に配慮した、県民に愛される施設の整備
2 滋賀の若者や女性が主体的に関わる大会 若者や女性の、大会に向けた準備や大会運営への主体的な参画を図るとともに、心身ともにたくましく思いやりの心を持った子どもの育ちや、女性がより一層スポーツに親しむことのできる環境づくりにつなげます。	2-① 子ども・若者の大会準備・運営への参画	・子ども・若者世代の参画機会の積極的確保 ・「ジュニア・ユースチーム」の活動展開
	2-② 女性の大会準備・運営への参画	・スポーツの分野における女性の参加機会の拡大 ・「女性アスリート・指導者支援事業」の展開
3 県民総参加でつくり、「滋賀の力」を伸ばす大会 県、市町をはじめ、関係機関・団体、大学や企業との緊密な連携のもと、多様な人、多様な主体との協働を通じた創意工夫による大会準備・運営を行うとともに、滋賀の持つ「人の力」「地と知の力」を伸ばします。	3-① 多様な主体との連携・協働	・学校、企業、各種団体・NPOとの連携・協働による大会準備・運営 ・大会に対する寄附募集の促進と、寄附文化の定着
	3-② ボランティア活動等の推進・定着	・スポーツボランティアの裾野の拡大と人材育成 ・各種スポーツイベントの経験の蓄積を生かした大会運営 ・ボランティア文化の定着
	3-③ みんなのこころに残る大会運営	・選手、監督、観客、県民 みんなの心に残る大会運営の企画・実行 ・「オリンピック・パラリンピックイヤー」にふさわしい大会運営
4 滋賀の魅力を再発見し、地域の活性化やビジネスにつなげる大会 環境へのこだわりや歴史・文化・自然など多様な滋賀の魅力を県民自らが見つめなおし、全国に発信するとともに、大会準備や運営、「おもてなし」の経験をもとに、将来につながるビジネスへの展開など、地域経済の活性化を図ります。	4-① 滋賀の魅力発信と地域活性化の促進	・「おもてなし」の経験の地域への定着 ・「滋賀・琵琶湖」の魅力を県内外への積極的発信 ・「おいしが うれしが」をはじめとする地域のブランドのさらなる振興 ・準備や運営過程での地産地消の促進
	4-② 滋賀らしさあふれる「文化プログラム」の展開	・滋賀の豊かな自然・歴史・文化の発信 ・アールブリュットの積極的発信
	4-③ スポーツビジネスの展開等を通じた経済振興	・スポーツ・健康づくりイベントの各地域への定着 ・スポーツツーリズム等の振興を通じた交流の定着 ・スポーツの成長産業化の促進

開催基本方針 実施目標	取組項目	(具体的な取組の例)
5 滋賀の子が、滋賀で育ち、滋賀で活躍する大会 大会を契機として、滋賀の地で選手が育ち、その選手が指導者となって次の世代を育てるなど、滋賀のスポーツの発展を支える好循環の形成に努めるとともに、次代を担う子どもが夢を育み、実現することのできる環境づくりを目指します。	5-① 大会を契機とする競技力の向上	・競技水準の向上、競技者の拡大 ・開催県としてふさわしい成績の獲得 ・次世代アスリート育成支援事業（滋賀レイキッズ）の展開
6 滋賀の未来に負担を残さない大会 既存施設の有効活用や、大会運営の簡素化・効率化を徹底するとともに、施設整備が必要な場合は、環境に最大限配慮し、大会終了後の持続的な活用が可能で、かつ防災等多目的に使用できる、誰もが使いやすい施設としての整備を目指します。	6-① 大会運営の簡素・効率化	・簡素・効率化の徹底による財政支出の抑制 ・競技用具の共同購入等、他府県との連携の促進
7 すべての人がともに支え合う滋賀を目指す大会 障害のある人が主体的に大会に参画することや、障害の程度に関わらず日常的にスポーツに親しむ環境を整えることで自己実現の機会を拡げるとともに、障害のある人もない人もみんなスポーツを楽しむことを通じて、人と人との絆を育み、障害への理解を深め、ともに支え合う社会を築きます。	7-① 国体と全国障害者スポーツ大会の「一体感ある」開催	・競技役員・ボランティア等養成や、各種準備行為の一元化 ・両大会の情報の一元化、一体感ある発信 ・可能な競技・イベントの並行開催・一体開催の検討 ・障害のある人の大会運営への積極的関与
	7-② ユニバーサルデザインに配慮した大会運営	・大会運営におけるバリアフリーの確保 ・ユニバーサルデザインの考え方の定着 ・大会期間を通じた障害のある人との交流機会の積極的確保 ・障害者理解の促進と「こころのバリアフリー」の実現

第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会募金
平成 29 年度 寄附実績について

1 寄附の実績 (H30. 3. 31 現在)

平成 29 年度実績 30,424,002 円

寄附の種類	件数	寄附金額	備 考
個人	65 件	364,524 円	(うち着ぐるみ製作: 364,524 円)
企業・団体	19 件	29,472,600 円	(うち着ぐるみ製作: 164,000 円)
イベント	26 件	400,112 円	街頭募金、スポーツイベント等での募金 (うち着ぐるみ製作: 303,205 円)
据置き募金箱	—	105,766 円	(うち着ぐるみ製作: 7,143 円)
その他	2 件	81,000 円	びわ湖レイクサイドマラソン(チャリティーランナー (@500 円))、チャリティーオークション売上金
計	112 件	30,424,002 円	(使途) 競技力向上 5,359,799 円 施設整備 24,207,861 円 広 報 838,872 円 (チャップフィー着ぐるみ製作)

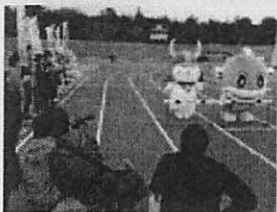
<参考>

年 度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	計
件 数	2 件	78 件	93 件	112 件	285 件
寄附金額	11,000 千円	20,066 千円	23,320 千円	30,424 千円	84,810 千円

2. 寄附金を活用した事業展開

- 1) 「選手の育成および強化」のためにいただいた 23 万円については、平成 29 年度に実施した競技力向上事業に充当
 - 次世代アスリート発掘育成事業 13 万円
 - パラスポーツチャレンジプロジェクト 10 万円
- 2) 「広報」のためにいただいた 83 万円については、大会マスコット「チャップフィー」の着ぐるみ製作費に充当
 - 大会マスコットキャラクター「チャップフィー」着ぐるみ製作 83 万円

ジュニア・ユースチーム 第5期生メンバー募集!



ジュニア・ユースチームとは?

滋賀での国体・全国障害者スポーツ大会を盛り上げるためのアイデアやスポーツに関することについて、毎年度、テーマを設定して、調査・体験活動を行い、自分たちの意見の表明や提案などに取り組むチームです。

2024 滋賀国体・全国障害者スポーツ大会マスコットキャラクター



チャッピー キャッピー

●対象●

小学5年生～20歳代前半

●申込みしめきり●

7月6日(金)

今回(第5期生)のテーマは?

『スポーツの魅力発見!!』

★競技を体験し、その競技に関わっている人へ取材をします!

★福井しあわせ元気国体の会場へ行き、競技の様子を見学します!

★競技を盛り上げるアイデアをメンバーで考え、提案します!

体験・取材する競技は?

ホッケー

フェンシング

アーチェリー

回	活動予定 全9回 ※活動日や内容は変更する場合があります。	日 程
1	結団式、仲間づくり活動	8/26(日)
2	有識者による講義	9月下旬
3	福井しあわせ元気国体 視察	10/6(土)
4	「ホッケー」競技体験・取材①	10/27(土)
5	「アーチェリー」競技体験・取材②	11/10(土)
6	「フェンシング」競技体験・取材③	11/23(金・祝)
7	提言のまとめ	12月下旬
8	活動のまとめ	2月中旬
9	活動報告会、解団式	3月中旬

メンバー特典

「国体・全スポフレンド」に認定し、2024年滋賀での総合開会式にご招待



国民体育大会
シンボルマーク

国民体育大会・全国障害者スポーツ大会とは?

各都道府県の代表選手が出場する国内最大のスポーツの祭典です。
毎年異なる都道府県で開催され、2024年に滋賀県で開催します。



全国障害者スポーツ大会
シンボルマーク

(1) 滋賀らしい国民体育大会および全国障害者スポーツ大会の開催について

— 競技力向上対策について —

1 これまでの取組経過

平成 26 年 1・2 月に滋賀県競技力向上基本計画を策定し、この基本計画に基づき県、県教育委員会、市町、県スポーツ協会、県障害者スポーツ協会、教育関係、経済産業関係、学識経験者など幅広い主体の参画を得て、総合的・計画的に本県競技力を向上させるために滋賀県競技力向上対策本部を平成 27 年 3 月に設立。平成 28 年 3 月に基本計画に基づく推進方策を示した競技力向上推進計画を策定した。平成 29 年 7 月に競技力向上基本計画の改定を行い、全国障害者スポーツ大会に向けた段階的目標を盛り込み、国体・全国障害者スポーツ大会に向けて競技力向上に取り組んでいる。

2 現状

年 度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
開催県	68 回東京	69 回長崎	70 回和歌山	71 回岩手	72 回愛媛
天皇杯順位	40 位	35 位	24 位	33 位	39 位
総合得点	763.83 点	810.5 点	940.0 点	888.0 点	803.5 点

3 平成 30 年度の競技力向上対策

【主な取り組み】

(1) 競技団体毎の強化計画の見直し

競技力向上基本計画の改定にあわせて、競技団体毎に定めた強化計画を競技団体と共に検討し、計画の見直しを図る。

(2) 「2024 滋賀国体強化拠点校」の指定について(資料 1-2①)

少年種別の競技力向上において、高校の運動部単位での強化が有効と考えられる競技について平成 29 年度から 3 年をかけて「強化拠点校」を指定し、集中的に競技力の向上を図る。

◇平成 29 年度指定 21 校 35 部

◇平成 30 年度指定 15 校 24 部

◇平成 31 年度指定 14 校 21 部

平成 30 年度は 27 校 59 部を強化拠点校として強化事業を実施する。

(3) ターゲットエイジ重点強化について(資料 1-2②)

2024 年に滋賀県で開催される国体時に、少年種別の主力となる年代(平成 30 年度の小学 4・5・6 年生)の有望選手を対象に強化事業を行う。

◇21 種目が実施

(競泳、飛込、水球、アーティスティックスイミング、ホッケー、体操(新体操)、レスリング、スケート(フィギュア)、スケート(ショートトラック)、セーリング、ウエイトリフティング、自転車、ソフトテニス、相撲、フェンシング、柔道、バドミントン、ラグビーフットボール、カヌー、銃剣道、アイスホッケー)

(4) 次世代アスリート発掘育成プロジェクトについて(資料 1-2③)

県内の運動能力に優れた子どもたちを早期に見出し、各種育成プログラムを実施することにより、将来全国大会や世界大会で活躍できるトップアスリートを輩出する。

◇第1～3期生各36名の合計108名がプログラム修了。

そのうち1期生9名、2期生13名、3期生13名が育成プログラムの競技体験を通じて出会った競技に本格的に取り組み始めた。

(陸上競技、ボート、ホッケー、ウエイトリフティング、フェンシング、ラグビーフットボール、カヌー、アーチェリー、アイスホッケー)

◇第4期生からはターゲットエイジ世代に入り、認定者を40名に拡大した。

(5) 2024 滋賀国体活躍選手採用促進事業

2024年滋賀県で開催される国体時に成年選手として活躍が期待できる全国・国際大会で活躍するトップアスリートや指導者に対し、県内企業等への就職斡旋の支援を行い、将来の成年選手の強化拠点の構築に努める。

(6) 企業・大学・クラブ支援事業

国体等の全国大会において、常に優秀な成績を上げるために、企業・大学・クラブチームを指定し競技力の向上を図る。

「2024滋賀国体強化拠点校」(学校別)

NO	学校名	H29年度指定		H30年度指定		H31年度指定		指定数
1	膳所高校					セーリング (男女)		1
2	堅田高校	ウエイトリフティング (男女)						1
3	大津高校	ボート (女子)	カヌー (男女)	弓道 (男女)		水球 (女子)		4
4	石山高校			フェンシング (男女)		ラグビー (女子)		2
5	瀬田工業高校	ボート (男子)				自転車競技 (男女)		2
6	大津商業高校	陸上競技 (男女)	アーチェリー (男女)	ソフトボール (女子)				3
7	彦根翔西館高校	陸上競技 (男女)		ハンドボール (男子)	ハンドボール (女子)	バドミントン (男子)	なぎなた (女子)	5
8	長浜北高校			ソフトテニス (男子)	ソフトテニス (女子)			3
				弓道 (男女)				
9	伊香高校			柔道 (男子)	柔道 (女子)			2
10	長浜北星高校	水球 (男子)				相撲 (男子)		2
11	八幡工業高校	剣道 (男子)		バスケットボール (男子)	ラグビー (男子)			3
12	八幡商業高校	サッカー (女子)	ボート (女子)					3
		カヌー (男女)						
13	草津東高校	陸上競技 (男女)	サッカー (男子)	競泳 (男女)	バスケットボール (女子)			7
		剣道 (男子)	剣道 (女子)					
		アーチェリー (男女)						
14	玉川高校	フェンシング (男女)						1
15	栗東高校	体操 (男女)	レスリング (男女)			テニス (女子)		4
		ソフトボール (男子)						
16	水口高校	ライフル射撃 (男女)		ソフトボール (女子)				2
17	野洲高校	サッカー (男子)						1
18	甲西高校			ソフトテニス (女子)				1
19	高島高校					ボート (男子)		1
20	安曇川高校	ウエイトリフティング (男女)						1
21	能登川高校					ボクシング (男女)	バドミントン (女子)	2
22	八日市南高校	カヌー (男女)						1
23	伊吹高校	ホッケー (男子)	ホッケー (女子)					2
24	日野高校	レスリング (男女)						1
25	比叡山高校			競泳 (男女)	柔道 (男子)	バレーボール (男子)	剣道 (女子)	6
				柔道 (女子)	バドミントン (男子)			
26	滋賀短大附属高校	バスケットボール (女子)		バドミントン (女子)		バレーボール (女子)		3
27	近江高校			柔道 (男子)		バレーボール (男子)	卓球 (男子)	3
28	近江兄弟社高校	ハンドボール (男子)		弓道 (男女)		バレーボール (女子)	新体操 (女子)	6
						卓球 (男子)	卓球 (女子)	
29	光泉高校	テニス (男子)	バスケットボール (男子)					4
		ラグビー (男子)	アイスホッケー (男子)					
30	立命館守山高校	ハンドボール (女子)		ソフトテニス (男子)				2
31	滋賀学園高校					卓球 (女子)		1
計	31	35		24		21		80

31校30競技80部

平成30年度 ターゲットエイジ重点強化事業について

1. 事業実施競技と対象選手数(平成30年度)

競技名		男子					女子					合計
		小3	小4	小5	小6	中1	小3	小4	小5	小6	中1	
1	水泳(競泳)				10					9		19
2	水泳(飛込)				1					1		2
3	水泳(水球)		2	2	6							10
4	水泳(AS)									2		2
5	ホッケー			11	10				9	8		38
6	体操(新体操)							5	11	12		28
7	レスリング		1	6	5				1	1		14
8	スケート(フィギュア)			1	1				2	2		6
9	スケート(ショートトラック)		3	4	1							8
10	セーリング		1		1							2
11	ウエイトリフティング				1							1
12	自転車				1					1		2
13	ソフトテニス				10				1	9		20
14	相撲		3	3	5							11
15	フェンシング		1		1			1		1		4
16	柔道			4	8				4	8		24
17	バドミントン				2					4		6
18	ラグビーフットボール		10	15	21							46
19	カヌー		2	1	10			1	2	2		18
20	銃剣道		2		2							4
21	アイスホッケー			2	2	5						9
	合計	0	25	49	98	5	0	7	30	60	0	274

次世代アスリート発掘育成プロジェクト 修了生の活躍一覧

平成30年3月

期	No.	修了生氏名	所属中	競技名	本事業により 競技転向した者	全国大会等での活躍
1	1	堤 茉央	高月中	ウエイトリフティング	○	全国3位(44kg級)
	2	新徳 真夕	草津中	ボート	○	全国3位
	3	北村 さくら	釧路市立鳥取中	アイスホッケー		全国3位
	4	徳田 七海	光泉中	ウエイトリフティング	○	全国4位(48kg級)
	5	田代 凧希	打出中	ボート	○	全国ベスト12
	6	谷口 愛理	高穂中	ソフトボール		全国ベスト16
	7	山本 麻菜	近江兄弟社中	バレーボール		全国ベスト27
	8	渋谷 樹里	皇子山中	アーチェリー	○	西日本大会2位
	9	橋野 翔貴	北大路中	硬式野球		関西大会ベスト8
	10	宮田 凌弥	彦根南中	軟式野球		全国大会出場
	11	松本 璃音	皇子山中	フェンシング	○	全国大会出場
	12	田井中 亮太	近江兄弟社中	陸上競技 (走り幅跳び)		ジュニアオリンピック大会出場
	13	菊森 いつみ	甲賀中	バスケットボール		U-13近畿エンデバー選出(H28)
2	1	木戸 彩加	葉山中	ウエイトリフティング	○	全国5位(44kg級)
	2	豊嶋 蓮央	瀬田中	ウエイトリフティング	○	全国8位(56kg級)
	3	青木 結那	高月中	ウエイトリフティング	○	全国10位(53kg級)
	4	伊藤 真優	立命館守山中	陸上競技 (100m・4× 100m)		ジュニアオリンピック大会ベスト24
	5	白川 柊毅	皇子山中	フェンシング	○	全国大会出場
	6	國友 紅亜	虎姫中	ホッケー	○	全国大会出場(11人制)



滋賀から世界へ！ トップアスリートの育成を目指します！

保護者のみなさま！ お子さまの可能性を広げてみませんか？

滋賀レイキッズは、「**3つのレイ**」でアスリートを育てます！

- ★礼 kids 感謝の気持ちを忘れない人に！
- ★麗 kids 人の心をひきつけるような 魅力ある人に！
- ★励 kids 目標に向かって一生懸命 努力する人に！

当プロジェクトは、2024年に滋賀県で開催される国体・全スポに向けた寄附金やスポーツ振興くじ助成金を受けて運営されています。

<個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて> 必ずお読みください

- 主催者および報道機関等によって撮影された写真や動画が、新聞・雑誌・報告書・募集チラシ・関連ホームページ等で公開されることがあります。
 - 主催者および報道機関等によって撮影された写真や動画が、中継・録画放送及びインターネットにより配信されることがあります。
 - 「滋賀レイキッズ」に認定された場合、氏名、学校名等が実行委員会および報道機関によって公表されることがあります。
- ※参加を申し込みされる方は、上記取り扱いについて承諾されたものとみなします。
次世代アスリート発掘育成プロジェクト実行委員会

<お問い合わせ先>

次世代アスリート発掘育成プロジェクト
実行委員会事務局
滋賀県県民生活部スポーツ局(滋賀県庁内)
〒520-8577 大津市京町四丁目1-1
TEL 077-528-3378

2018年 | 小学5年生対象

次世代アスリート 発掘育成プロジェクト

滋賀レイキッズ 第5期生募集!!



2024国体・全スポ マスコットキャラクター
チャッピー キヤッピー

挑戦することが
夢への第一歩

滋賀レイキッズ第4期生 認定証交付式

主催：滋賀県・滋賀県教育委員会 共催：公益財団法人滋賀県スポーツ協会
協力：独立行政法人日本スポーツ振興センター(JSC) 公益財団法人滋賀県スポーツ協会加盟競技団体
主管：次世代アスリート発掘育成プロジェクト実行委員会



主催：滋賀県・滋賀県教育委員会
共催：公益財団法人滋賀県スポーツ協会
協力：独立行政法人日本スポーツ振興センター(JSC)
公益財団法人滋賀県スポーツ協会加盟競技団体
主管：次世代アスリート発掘育成プロジェクト実行委員会



注目!!

次世代アスリート発掘育成プロジェクトとは!!

滋賀県内の小学5年生を対象に運動能力テスト(選考会)を行い、受験者全員の中から約40名を選抜します。選抜された子どもたちは、滋賀レイキッズ第5期生としてさまざまなトレーニングや競技体験を受講していただきます。アスリートに必要な技術・感覚・精神面などを身に付け、自分の適性に合った競技種目を見つけながら、将来、全国大会や国際大会で活躍できるトップアスリートを目指します。

1. 1次選考会(6月) (受験者全体 → 約100名を選抜します)

<受験資格>

- ☆滋賀県内在住の小学5年生
- ☆18ヶ月間の育成プログラムを継続的に受講していただける方
- 育成プログラムは、県内各地で行います。
- 現地集合・解散が基本となりますので、保護者の送迎が必要です。

<参加費用>

- ☆選考会の参加費用は無料です。
- ☆合格後の育成プログラムにかかる費用(講師料・施設利用料など)は、主催者が負担いたします。
- ただし、ユニフォーム代(約20,000円)、合宿費用など一部参加費用が発生します。

<1次選考日時>

日 時	会 場	申し込み締切り
6月 2日(土) 9:30 ~ 17:00	湖南省総合体育館	5月 17日(木)
6月 3日(日) 9:30 ~ 17:00	安曇川総合体育館	5月 17日(木)
6月 9日(土) 13:30 ~ 21:00	長浜市民体育館	5月 24日(木)
6月 23日(土) 9:30 ~ 17:00	布引運動公園体育館	6月 7日(木)
6月 24日(日) 9:30 ~ 17:00	野洲市総合体育館	6月 7日(木)
6月 30日(土) 9:30 ~ 17:00	ウカルちゃんアリーナ	6月 14日(木)

☆受験に要する時間は約4時間です。受験者数により、2グループに分ける会場があります。

<選考種目> 運動能力を測る実技テスト(室内4種目)



- ☆受験者全員に運動能力テストの診断結果と合格判定結果をお渡しします。(7月中旬~下旬)
- ☆運動できる服装で参加してください。シューズはグリップ性の高い室内用シューズを準備してください。

<申し込み方法>

- ☆携帯でQRコードからアクセスして申し込んでください。
- ☆受験会場を選んで申し込みください。どこでも会場を受験しても構いません。
- ☆受験回数は1人1回です。
- ☆申し込み締切日が会場によって異なりますのでご注意ください。
- ☆申し込みが完了した方には、選考日の1週間前に受験票と案内を郵送します。

夢は叶えられる!
まず挑戦する
ことがら!

スポーツが
好きな人
集合!

<QRコード>



2. 2次選考会(8月) 1次選考を突破した約100名 → 約40名(男子20名、女子20名)

<2次選考日時>

日 時	会 場	受験対象
8月 4日(土) 9:30 ~ 18:30	滋賀県立スポーツ会館	男子(約50名)
8月 5日(日) 9:30 ~ 18:30	滋賀県立スポーツ会館	女子(約50名)

<選考種目> 身体能力を測る実技テスト(室内3種目)、面接



- ☆受験者全員に運動能力テストの診断結果と合格判定結果をお渡しします。(8月下旬)
- ☆運動できる服装で参加してください。シューズはグリップ性の高い室内用シューズを準備してください。
- ☆面接は受験生と保護者による面接形式です。プロジェクトに関わる簡単な質問をします。

<合格判定について>

1次選考得点に2次選考得点を加算し男女別に総合判定します。

3. 滋賀レイキッズ 認定証交付式(10月) 2017年度 実績 40名認定

☆滋賀レイキッズ第5期生として認定証が交付されます。

<日時・会場>

日 時 10月28日(日) 14:00~16:30
会 場 栗東芸術文化会館さくら
対 象 2次選考に合格した約40名



4. 育成プログラム(2018年10月 ~ 2020年3月) 18ヶ月間

<育成プログラム内容>

- ☆5つのプログラムを基本とし、毎月1~2回、さまざまな育成プログラムを受講していただきます。
- ☆プログラムを実施する曜日は、原則、土日祝日になります。所要時間は、半日(75分×2時間)を基本としています。
- ☆プログラム内容によっては、合宿を行ったり県外へ研修に行くこともあります。(プロジェクト実行委員が引率します。)
- ☆競技体験プログラムのみ1次選考を通過した全員に案内し、レイキッズ同様にサポートします。(レイキッズサポート生)



<2018年度 日程>

日 時	会 場	プログラム内容
① 11月 3日(土) ~ 4日(日)	県立スポーツ会館 他	宿泊オリエンテーション
② 11月 17日(土) 13:30 ~ 17:00	湖南省総合体育館	コーディネーショントレーニング/身体能力開発プログラム
③ 12月 8日(土) 13:30 ~ 17:00	ウカルちゃんアリーナ	コーディネーショントレーニング/食育プログラム
④ 1月 14日(月) 13:30 ~ 17:00	ウカルちゃんアリーナ	コーディネーショントレーニング/知的能力開発プログラム
⑤ 2月 10日(日) 13:30 ~ 17:00	ウカルちゃんアリーナ	コーディネーショントレーニング/保護者プログラム
⑥ 3月 2日(土) 13:30 ~ 17:00	ウカルちゃんアリーナ	コーディネーショントレーニング/第4期生修了式

- ※日時・内容等は4月現在の予定です。変更する場合がありますので予めご了承ください。
- ※2019年度は、約15回の育成プログラムを予定しています。保護者プログラムは随時行います。



さまざまなプログラムを受講することにより、アスリートとしての基礎を身に付けます。小学校を卒業する時には、適性に合う競技の指導者を紹介するなど、競技団体への橋渡しを行います。

5. 滋賀レイキッズ 修了証授与式(2020年3月)

滋賀レイキッズで学んだことを生かして、中学校で活躍してください。中学入学後も、継続的に相談できるよう窓口を設けます。



次世代アスリート発掘育成プロジェクト 事業展開イメージ														
	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	...
5期生	発掘→育成 (小5→小6)	連結 (中1)		(中2)	(中3)	(高1)	(高2)	(高3)	大学・社会人	トッパースリート、 指導者として活躍！				
6期生		発掘→育成 (小5→小6)	連結 (中1)	(中2)	(中3)	(高1)	(高2)	(高3)	大学・社会人					
7期生			発掘→育成 (小5→小6)	連結 (中1)	(中2)	(中3)	(高1)	(高2)	(高3)	大学・社会人				

(滋賀国体開催年)